

五年ぶりに「寿賀の会」が開催されました

九時三十分の受け付け開始から徐々に集まり頂き、定刻の十時に開始となりました。

余興の後、西條和夫社会福祉協議会長の乾杯の合図で祝宴が始まりました。久しぶりに会った方と楽しいお話に花を咲かせる場面も多く見受けられました。

最後にご招待者を代表して北沢伴康さんにごあいさついただき、稲垣康史公民館分館長、閉会の言葉、細川茂子社会福祉協議会副会長のあいさつで締めて頂き、寿賀の会が終了しました。

また来年もお元気な皆様とお会いできますことを楽しみにしております。

五年ぶりの寿賀の会開催にあたり関係者の皆様、実行役員の皆様のおかげを持ちまして盛大な寿賀の会が開催されました事、感謝いたします。

投稿.. 副自治会長水石康さん



諏訪形公民館にwii fi 環境ができてから、諏訪形シニアクラブかてりやの会では、一時コロナ禍で中断していた「ご近助カラオケ」を、月二回ですが再開しました。八月二十四日（土）にはそのメンバーを含め十四名の方が、「カラオケを楽しむ会」でカラオケを楽しみました。

YouTube(ユーチューブ)の無料カラオケですので、一曲ごとにコマースャルが入りますが、それを我慢すれば今までのレザークラオケとは比べ物にならないくらい曲目が選べ、公民館の工コーの効いた音響装置も手伝って、歌自慢の皆さんの声にも一段と力が入ります。

当日は、上田市の今シーズン一番の暑さ、気温三十八・四度を記録しましたが、参加された皆さんは冷房の効いた広間で熱唱されました。

今後、第二回、第三回と、「力ヲオケを楽しむ会」の開催を企画する予定ですので、大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

投稿：諏訪形シニアクラブかてりやの会会計 金井保芳さん

諏訪形シニアクラブかてりやの会で

諏訪形シニアクラブかてりやの会の有志五人は、九月十二日（木）、公民館向かい側にある火の見櫓下の草取りを行いました。

毎年、五月・七月・九月・十一月の年
四回実施しており、今回は今年三回目に
なります。ボランティア活動の一環で地
域に少しでも貢献できればと思うて行っ
ております。

当日は、午前八時台の通勤時間帯で車が多く、道沿いの草取りでしたので、両端に三角コーンを置き、車に気を使いなから作業を行いました。




迷走する台風第十号が、九州鹿児島に上陸した二十九日木曜日午前十時に、自治会・かてりやの会・社会福祉協議会の主催で「ふれあいお茶会」が開催されました。

開催するか、中止とするかで日々迷った
 のことですが、「多くの方がお会いし少
 しでも楽しい時間を過ごして欲しい」との
 目的から開催することになったとのこと
 です。

今回の参加者は三十三人、二人欠席したとのことです。参加者からは「楽しみにしているよ」との声も多くありましたが、男性からは「普段のお付き合いが無く名前が分からない」との声もありました。

事務局では、多くの方にふれあっていたために、名札の準備や席をくじ引にするとかを考えているようです。また、「買物大変でしょう。ありがとう」の言葉を励みに今後の開催も頑張るとのことです。



この後、九月二十六日にも、「九月のふれあいお茶会」が開催され、三十数名の皆さんにご参加いただきました。

投稿.. 社会福祉協議会長 西條和男さん

晩夏、公民館花壇のアフリカンマリ
ーゴールドや日々草の花が「夏だよ」
と咲いていました。

この花壇は、城南公民館諏訪形分館役員や夏休み中の小学生や保護者の皆さんの水やりにより管理され、今年は



ただいたと思います。

十月には市から提供される極小のビオラの苗をポット上げし生育させ、十一月初めに花壇へ定植されとのことです。楽しみます。

投稿.. 社会福祉協議会長 西條 和男さん



「レンタル高校生」の活躍

上田千曲高校生活福祉科では高齢者の種々の生活支援を行う「レンタル高校生」と称する活動を行っています。この度、高校生十二名、長野大学学生二名が諏訪形で二件の活動をしました。

一件は、七月十日に同科が諏訪形シニアクラブかてりやの会が実施した「スマホカフェ」で学んだ三人が、公民館で生徒と対面でスマホの更なるスキルアップ図りました。



もう一件は、K様宅で花壇の草取り作業を行いました。猛暑日であったためK様ご夫妻のご配慮で草取りを早々に切上げ、お宅に上げて頂いて、茶菓の用意をさせて頂きました。奥様手作りの小梅の甘酢漬が好評で多くの生徒が追加をリクエスト。K様から生涯の勉強について、ご自身の経験からたいへん示唆に富んだお話を頂き、また奥様からは一九九五年一月十七日の阪神淡路大震災時の日赤奉仕団の募金活動や民生児童委員の仕事についてお話を頂きました。生徒にとっても大変有意義な時間を過ごす事ができたことと思います。

なお、この活動には城下地域包括支援センターの水上所長と宮沢様にもご参加いただきました。

投稿：諏訪形シニアクラブかてりやの会事務局長 宮下修身さん

城下小学校の稲刈りをお手伝いしました

九月二十日（金）、城下小学校五年生の稲刈りがありました。当日は秋晴れ。約六十人の子もたちが（たぶん）初めての稲刈りを行いました。諏訪形まちづくり協議会の皆さんを中心に、地域の皆さん十人ほどがお手伝いをしました。

まず、上田市農業委員会の会長をつとめておられる、小牧の片岡さんから、作業の仕方や「ハゼ掛けで乾燥させて米は特においしい」などの説明がありました。その後、子どもたちは稲刈りとハゼ掛けの作業を行いました。

なかなか力がある作業なので、うまく刈れずに苦戦する姿も見られましたが、子どもたちは「けっこう楽しい」「おはきを作りたい」「餅つきをしたい」などと話しながらがんばっていました。担任の先生は「地域の皆さんのおかげで、子どもたちが貴重な体験ができることはとてもありがたい。来年以降も続けていけるといい」と話してくれました。



諏訪形誌を歩く 第十六回イベント

石尊山（三本松）から諏訪形・上田を眺める

が開催されました

九月二十八日（土）、おなじみになった（？）諏訪形誌活用委員会主催のウォーキングイベント「諏訪形誌を歩く」の第十六回目のイベントが開催されました。今回は二つのコースから石尊山と権現山に登り、諏訪形・上田を眺めるという企画です。以前にも紹介させていただきましたが、このあたりの遊歩道は「ナチュラリストクラブ・うえた」の皆さんが中心になって整備が進められており、とても歩きやすくなっています。今回は諏訪形自治会の皆さんのほか、「ナチュラリストクラブ・うえた」と「里山を歩く会」の皆さんにもご参加いただきました。

当日は朝から曇りで、歩きやすい日となりました。「大冒険コース」の皆さんは途中で、玉窓妙金法尼の石祠に立ち寄り、その後、道なき道をたどって石尊山頂に向かいました。一方「一般コース」の皆さんは「上の山の神」から遊歩道に入り、直接石尊山頂に向かいました。



石尊山で両コースの皆さんが合流し、講師の皆さんから、石尊山頂に祀られている大山祇園神社についてや、この山からの眺望を整備した時の苦労話、「ナチュラリストクラブ・うえた」の皆さんの活動についてなどのお話を伺いました。その後、権現山と舟窪古墳群を回り、上の山の神付近で解散となりました。なお、この日の様子は翌日には「ナチュラリストクラブ・うえた」の皆さんのYouTube（YouTube）で紹介されました（<https://www.youtube.com/watch?v=8gsewv7h1ic>）。もちろん現在も公開中です。

今回は参加者が十五名とやや少なめでしたが、初秋の半日、楽しい山歩きで交流を深めることができました。

次回、本年最後のイベントは、十二月十四日（土）、諏訪形公民館を会場に、窪田善雄委員の講演「諏訪形の文化財（仮題）」を予定しています。たくさんの方の参加をお待ちしています。

ご参加いただいた方のご感想

全コース徒歩の「大冒険コース」に参加しました。石尊山山頂から眼下に、諏訪形・上田の素晴らしい景色が見渡せました。この展望復活にご尽力された皆さんに、感謝申し上げます。

途中、舟窪古墳（予定コース外に立ち寄り、地元にくさんの古墳があることを知り、諏訪形への愛着と関心が深まった一日でした。

「ナチュラリストクラブ・うえた」の皆さんの活動動画

「ナチュラリストクラブ・うえた」の皆さんが紹介してくださっている動画は、「上田市東山」で検索していただくことでコンピュータやスマートフォンからYouTube（YouTube）でご覧いただけます。皆さんの活動を励ますためにも、視聴していただいていたから「いいね！」ボタンを押してください。次のような動画が紹介されています。

- ・石尊山と権現山へ（石尊山、権現山と舟窪古墳群）
- ・武田家滅亡を偲ぶ山歩き（玉窓妙金法尼の祠を訪ねて）
- ・諏訪形・石尊山展望復活（三本松の展望を取り戻す作業）
- ・上田市東山への新登山道
- ・News 2min. 秋も登れます
- ・石尊山から諏訪形・上田を眺める

秋の金窓寺川草刈りが行われました

九月二十九日（日）午前、あいにくの雨模様で心配しましたが、八時開始と同時に何とか草刈りができる天候となり、大勢のボランティアの皆様、自治会役員、総勢三十名程の皆さんに参加して頂き、深町橋から上流に金窓寺川流域の草刈りを二班に分かれて行われました。

前回春と同様草の伸びも良く時間がかなりそうな所、ベテラン、経験者が手際よく作業して頂き、途中休憩を含みましたが予定どおり終了する事ができました。雨上がりで草刈りした後の、濡れた草の収集が予想外に重たいため苦労しましたが、無事終わることができました。



今年も金窓寺川周辺の環境整備に貢献できたかなと思っております。今年の夏は全国各地で大雨、竜巻等の災害により、多くの被害が出ております。特に今年の一



能登半島地震に始まり、九月二十一日の奥能登豪雨災害で多くの人が再び被災に見舞われました。日本全国どこでも、いつ災害が起きても不思議ではありません。これから台風シーズンに突入します。防災について少しでも学び直して、自分たちができる対策をしていきたいと思います。

草刈り作業にご協力して頂きました皆様に感謝申し上げます。

投稿：副自治会長水石康さん

虫のこえ

「あれマツムシがいない」「で始まる文部省唱歌「虫のこえ」はちょうど今頃の季節にぴたりです。マツムシ以外にもスズムシ、コオロギ、クツワムシ、ウマオイなどの名前が出てきますが、この頃はこれらの虫の音もあまり聞こえなくなってきた気はしませんか？

「その代わり」と言っているのは？ですが、近年、やたらと大きな声（という言い方が適切かどうかよくわかりませんが）で鳴いている虫が耳につきまます。あれは「アオマツムシ」という外来種の虫です。輸入木材について国内に入ってきたようです。データでは、初記録は明治三十一（一八九八）年とも明治四十一年ともなされています。

上田での実感すると、二十年ほど前に「木の上にはえらく騒々しい虫がいるな」と思ったのが初めてのように記憶しています。当時はそれほど多くはなかったと思いますが、最近はいくらでも聞こえますね。

地域によっては大量発生により、果実などへの被害も出ているようです。「風流」だけではすまない「虫のこえ」の話でした。

